

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール(前回ご説明(2018.2.13審査会合)からの変更点)

平成30年2月20日
東北電力株式会社

今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査会合 実施回数 ^{*1}	審査会合 至近実績	準備状況 (%) ^{*2}	平成29年												平成30年												備考	変更事由								
					10月				11月				12月				1月				2月				3月						4月				5月			
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12			19	26	2	9	16	23	30	7
地震・津波	地質	敷地の地質・地質構造	(概ね審議済)	6回																																		
		敷地周辺の地質・地質構造	(概ね審議済)	10回																																		
	地震動	地下構造	(概ね審議済)	2回																																		
		震源を特定して策定する地震動	(概ね審議済)	7回																																		
		震源を特定せず策定する地震動	(概ね審議済)	2回																																		
		基準地震動	(概ね審議済)	2回																																		
	津波	基準地震動の年超過確率の参照		1回	H30.1.12	100																		★	☆													
		3. 11型地震による津波	(概ね審議済)	4回																																		
		3. 11型地震以外による津波	(概ね審議済)	2回																																		
		基準津波	(概ね審議済)	1回																																		
津波評価値について(基準津波の年超過確率の参照、秒移動評価)	(概ね審議済)	3回																																				
地盤・斜面の安定性(第3条)			0回	—	100																																	
火山事象		(概ね審議済)	3回																																			
耐震設計方針(第4, 39条)		※第3, 39条の設備の地震への対応も含む	8回	H30.2.20	(別紙1参照)																																	
耐津波設計方針(第5, 40条)		(別紙2参照)	3回	H30.2.13	(別紙2参照)																																	
DB	外部事象 (第6条)	電線に対する設計方針		4回	H29.12.19	90																																
		論点 電線防護ネットの構造及び耐震評価		0回	—																																	
		火山に対する設計方針		0回	—	90																																
		外部火災に対する設計方針		2回	H27.3.19	100																																
	その他自然現象等に対する設計方針		3回	H29.12.19	100																																	
	内部火災(第8条)・SA設備火災(第41条)	内部火災(第8条)・SA設備火災(第41条)		5回	H29.12.19																																	
		論点 中央制御室床下ケーブルピットの分離対策について		1回	H29.11.14	95																																
		論点 原子炉格納容器内火災防護対策について		1回	H29.11.14																																	
	単一火災発生時の安全停止機能維持について		1回	H29.12.19																																		
	内部漏水(第9条)		3回	H27.8.4	90																																	
	安全施設等																																					
	不法な侵入(第7条)		0回	—	100																																	
	振動の防止(第10条)		2回	H27.8.2	100																																	
安全避難通路(第11条)		2回	H27.8.2	100																																		
安全施設(第12条)		3回	H27.4.21	90																																		
全交流電源喪失(第14条)		0回	—	100																																		
使用済燃料プール(第16条、23条)		0回	—	100																																		
原子炉冷却材ハンダリ(第17条)		1回	H27.2.24	100																																		
安全保護回路(第24条)		2回	H27.8.2	100																																		
原子炉制御室(第26条)	(SA側、59条でご説明)																																					
監視設備(第31条)	(SA側、60条でご説明)																																					
保安電源(第33条)		0回	—	100																																		
緊急時対策所(第34条)	(SA側、61条でご説明)																																					
通信連絡設備(第35条)	(SA側、62条でご説明)																																					

【凡例2】

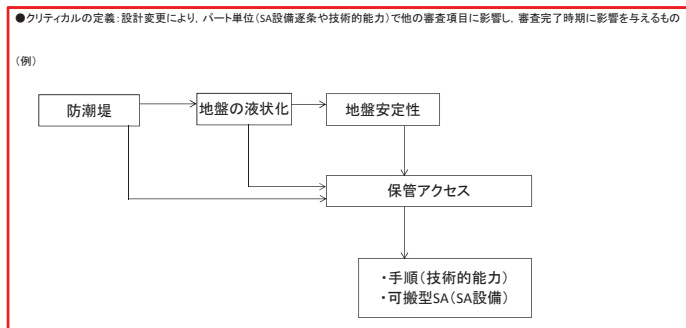
- ★ : 変更後(2/20)
- ☆ : 変更前(2/13)

【凡例】

- : 審査会合実施中の項目
- : これまで審査会合を実施していない項目
- ◻ : クリティカルパスとなる項目
- ☆ : 審査会合希望時期
- ▼ : 追って資料提出時期

主要な審査項目	審査状況	審査回数 実績回数※1	審査会合 至近実績	準備状況 (%)※2	平成29年				平成30年				備考	変更事由																				
					10月		11月		12月		1月				2月		3月																	
					2	9	16	23	30	6	13	20			27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12	19	26	2	9
SA	原子炉格納容器境界温度・限界圧力	1回	H27.3.3	100	☆																								格納容器破損防止と併せて説明	—				
	・炉心損傷防止	6回	H28.9.15	100	☆																								—	—				
	・健全流動力電源喪失時に速がし安全弁閉鎖が重畳する事故(TBP)時の対策について	0回	—	—	☆																								—	—				
	・中小破断LOCA時の破断面積について	0回	—	—	☆																								—	—				
	格納容器破損防止	4回	H28.9.15	90	☆																								代替循環冷却系のSA化に伴う新規評価のため	—				
	格納容器下部への初期水張り水位の適切性について	0回	—	—	☆																								—	—				
	・シェルアタックを除外する理由について	0回	—	—	☆																								—	—				
	・コリウムシールドの設置について	0回	—	—	☆																								—	—				
	・使用済燃料貯蔵設備（使用済燃料貯蔵槽内の燃料損傷防止対策）	2回	H29.12.26	95	☆																								新SAによるSFPスロッシングの過水量再評価のため	—				
	・停止時（運転停止中）原子炉における燃料損傷防止対策	2回	H30.2.8	100	☆																								—	—				
	・シーケンス選定（PRA）	9回	H30.2.8	100	☆																								Se/ハザード評価と併せて説明	—				
	・津波レベル1PRAより抽出したシーケンスグループ	2回	H30.2.8	100	☆																								—	—				
	・解析コード	[BWR電力会同でご説明済]	H27.10.15	—	—	※SA設備選定、技術的能力																								—	—			
	プラント	SA共通	—	—	—	※耐震(5)1~3地盤の液状化、 ※耐震(5)1.4構造物評価(=「津波2防波堤の構造成立性」) ※3条地盤・斜面の安定性																								—	—			
		重大事故等対応設備他(43条他)	0回	—	100	☆																								関連:有効性評価	—			
保管アクセス(43条他)		1回	H28.11.18	90	☆																								関連:耐震の地盤の液状化、3条地盤・斜面の安定性 新たに設定したSAに対する評価反映のため	—				
・周辺斜面の安定解析について		—	—	—	☆																								—	—				
共通事項(1.0)		0回	—	95	☆																								先行プラント審査による評価を反映のため	—				
SA設備選定(44条~59条)		9回	H29.12.26	90	(原子炉制御室) ☆																								関連:43条保管アクセス、有効性評価 柏崎刈羽6・7号炉の技術的知見等反映のため	—				
・注水用ヘッドの運用について		1回	H29.12.26	—	☆																								—	—				
SA設備選定(60条~62条)		3回	H27.4.2	70	☆																								敷地造成に伴いMMP1基を移設予定であり、移設先での評価反映のため	—				
・技術的能力(1.1~1.19)		0回	—	95	☆																								関連:43条保管アクセス 先行プラント審査による評価を反映のため	—				
・技術的能力(2.1)		0回	—	80	☆																								関連:DB、SA審査全般 関連審査および先行プラント審査による評価を反映のため	—				
新たな規制項目への対応	有毒ガス防護に係る対応	0回	—	—	☆																								原子炉制御室・緊急時対策所の居住性として示す	—				
	火山影響等発生時の体制整備に係る措置	0回	—	—	☆																								—	—				
	地震時の燃料被覆管閉じ込め機能	0回	—	—	☆																								—	—				
	格納容器の過圧破損を防止するための格納容器代替循環冷却系	0回	—	—	☆																								関連:有効性評価	—				
	使用済み燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による悪影響を防止するための対策	0回	—	—	☆																								—	—				
	原子炉制御室の居住性を確保するためのブローアウトハネルの閉止機能	0回	—	—	☆																								原子炉制御室と併せて説明	—				
添付書類5(技術的能力)	0回	—	—	—	☆																								体制・教育・有資格者数等を説明	—				

※1 平成26年1月から本審査会合までの実績
 ※2 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定



女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐津波関係）（前回ご説明（2018.2.13審査会合）からの変更点）

別紙2

平成30年2月20日
東北電力株式会社

準備状況 (%)	平成29年												平成30年												備考	変更事由																		
	10月						12月						1月						2月								3月						4月						5月					
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12			19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28							
耐津波設計方針(第5, 40条)																																												
① 基準適合(共通)																																												
I はじめに																																								90%				
II 耐津波設計方針について																																												
1 基本事項																																												
1 津波防護対象の選定																																								90%				
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等																																								90%				
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域																																								70%				
4 入力津波の設定																																								70%				
5 水位変動・地殻変動の評価																																								90%				
6 設計または評価に用いる入力津波																																								70%				
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																												
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針																																								90%				
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)																																								90%				
3 遡水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)																																								90%				
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)																																								70%				
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止																																								70%				
6 津波監視																																								95%				
7 津波影響軽減施設																																								70%				
3 重大事故等対応施設の津波防護方針																																												
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針																																								90%				
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)																																								70%				
3 遡水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)																																								70%				
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)																																								70%				
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止																																								70%				
6 津波監視																																								90%				
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																																												
1 津波防護施設の設計																																								70%				
2 浸水防止設備の設計																																								80%				
3 津波監視設備の設計																																								95%				
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項																																								80%				
② 論点「防海堤の構造成立性」																																												
1 防海堤の構造成立性																																												
1 設計方針																																								90%				
2 構造成立性																																								70%				
③ 論点「取水水路からの流入防止」																																												
1 取水水路からの流入防止																																												
1 設計方針																																								80%				
2 構造成立性																																								70%				

【凡例2】

- ： 変更後(2/20)
- ： 変更前(2/13)

【凡例】

- ： 審査会合を実施中の項目
- ： これまで審査会合を実施していない項目
- ： クリティカルパスとなる項目
- ☆： 審査会合希望時期
- ▼： 追って資料提出時期

※1 実施中の評価。先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定